

日本学術振興会
炭素材料第117委員会
第312回委員会議事録

1. 日時 平成26年11月21日(金) 9:30~17:00

2. 場所 産業技術総合研究所 臨海副都心センター本館会議室

3. 出席者 44名(順不同・敬称略)

委員長： 川口雅之(大阪電通大)

主査： 尾崎純一(群馬大)、豊田昌宏(大分大)、
児玉昌也(産総研つくば)、上野貴博(日本工業大)

幹事： 稲垣道夫(北大)、安田榮一(東工大)、寺井隆幸(東大)、
小林知洋(理研)、吉田明(東京都市大)、藤本宏之(大阪ガス)、
棚池修(産総研東北)

委員： 角田淳弥(原研機構)、沖野不二雄(信州大学)、塩山洋(産総研関西)、
小田廣和(関西大)、蛭谷玄太(コバレントマテリアル) 園部直弘(クレ
ハバッテリーマテリアルジャパン/代理：小松真友)、高波浩(タンケンシ
ールセーコウ/代理：児島勇)、羽鳥浩章(産総研つくば)、岩下哲雄(産
総研つくば)、福田敏昭(東海カーボン/代理：鶴田佳子)、森田純子(東
洋炭素/代理：森下隆広)、山下良(新日本テクノカーボン/代理：武藤剛
範)、河合隆伸(日本カーボン/代理：柴田博史) 平原聡(三菱化学/代理：
下功朗)、飯島孝(新日鉄住金)、中壽賀章(積水化学/代理：野里省二)

委員外： 清原健司(産総研関西)、斎藤幸恵(東大)、菱山幸宥(東京都市大)、森
田登(電動機・ブラシ技研)、鏑木裕(東京都市大)、寺西春夫(石川カー
ボン科学技術振興財団)、白石壮志(群馬大)、宮嶋尚哉(山梨大)

同伴者他： 多田良臣(東洋炭素)、近藤泰嗣(東洋炭素)、湊本美布佑(日本工大)、
大崎弘貴(原研機構)、神成尚克(群馬大)、曾根田靖(産総研つくば)、
吉澤徳子(産総研つくば)、澤孝一郎(日本工大)

4. 本委員会議事経過

※川口委員長司会の下に本委員会を開催した。

4-1 前回議事録の承認

第311回委員会議事録(案)を承認した。

また、分科会議事録については、以下を修正する。

- ・ 117-311-A-1 の7行目 2600℃に温度領域 → 2600℃の温度領域
- ・ 117-311-B-1 の7行目 力学的処理において → 力学的処理において

- ・ 117-311-B-1 の 24 行目 「この他に・・・検討を行ったところ」 → 削除
- ・ 117-311-C-1 の最後 大分大学院工 → 大分大・院工

4-2 117 委員会関係

(1) 委員長報告など

① 人事異動

- 委員交代： 日本原子力研究開発機構 柴田大受様 → 角田淳弥様
 身分変更： 大阪ガス 藤本宏之様 幹事 → 副委員長 ※2015 年 4 月より
 入会： 大阪市立工業研究所 丸山純様
 委員（特任幹事：日独セミナー担当） ※2015 年 4 月より

② 平成 26 年度特別講演会

前日 11 月 20 日（木）午後、特別講演会を産総研臨海副都心センターで行った。
 32 名（講演者 5 名含）の参加者があった。講演者とタイトルは下記の通り（講演順）。

- ・ 寺井隆幸様（東京大学）
 : 高エネルギー粒子プロセッシングによるダイヤモンドライクカーボン（DLC）の調製とその応用
- ・ 藤本宏之様（大阪ガス）
 : 乱層構造炭素へのインターカレーション反応と挿入物質の面内配置
- ・ 石井孝文様（東北大学）
 : エッジ面の精密分析に基づく高温処理炭素の構造解析とその応用
- ・ 田中文彦様（東レ）
 : 炭素繊維の非晶構造に関する考察
- ・ 鍋木裕様（東京都市大学）
 : 炭素材料の不均一性

③ 平成 27 年度委員会計画

- ・ 第 313 回：平成 27 年 4 月 10 日（金） 東工大
 - ・ 第 314 回：平成 27 年 7 月 24 日（金） 東大
 - ・ 第 315 回：平成 27 年 9 月 11 日（金） 東京都市大
 - ・ 第 316 回、特別講演会：平成 27 年 11 月 12 日（木）、13 日（金） 産総研
- ※ いずれも予定。日程会場の都合により変更がある場合は、今後随時、委員会のホームページ上に掲載されることがアナウンスされた。

(2) 分科会報告

117-312-A-1 Characterization of highly-crystallized graphite materials by magnetoresistance at liquid nitrogen temperature
 （東京都市大）○菱山幸宥、吉田明、鍋木裕、（北大名誉）稲垣道夫

117-312-B-1 メソ孔制御多孔質炭素CNovel（クノーベル）の工業製品化およびその細孔構造と機能
 （東洋炭素）○森下 隆広

117-312-B-2 窒素・ホウ素ドーパカーボンの固体塩基触媒特性

(群馬大・院理工) ○神成尚克、松永康傑、尾崎純一

- 117-312-C-1 ボロン添加黒鉛材の酸化特性と今後の研究計画
(東洋炭素) ○大崎弘貴、小西隆志、(原研機構) 角田淳弥、柴田大受
- 117-312-C-2 易黒鉛化性活性炭ナノ繊維電極のキャパシタ特性ならびに電気化学水晶振動子マイクロバランス法を用いた分析
(群馬大・院理工) ○白石壮志、大和雄斗
- 117-312-D-1 銀黒鉛質ブラシと金メッキスリップリングおよび銀メッキスリップリングの摺動接触特性
(日本工大) ○渕本美布佑、澤孝一郎、上野貴博
- 117-312-D-1 カーボンブラシの動特性評価用の大形整流試験機の開発
(電動機・ブラシ技術研究所) ○森田登

4-3 報告事項

(1) 炭素材料学会関係

※尾崎主査(学会運営委員長)より学会運営について以下の報告があった。

- ・2014年度年会(12/8-10、大野城まどかぴあ)の準備状況が報告された。181件の発表申し込みがある。今年は、座長以外の責任者として、各会場に運営委員を配置することにした。また、ポスター賞授与者を増加し、今回から適用する。参加登録締め切りは11/25。
- ・講習会、セミナーの報告があった。10月の基礎講習会は64名参加により開催された。次回は1月セミナーでリチウムイオン電池の高機能化と解析技術に関する内容で開催。
- ・次世代の会の定例会が年会の最終日12/10に開催される。

※沖野委員(学会編集委員長)より炭素誌について以下の報告があった。

- ・265号は若干遅れているが、来週中には発送できる予定。また、本号をもって編集委員長を退任し、曾根田靖氏に交代する。

(2) 国際会議関係

層間化合物国際会議(I S I C)がストラスブール(フランス)で2017年5月に開催予定、との紹介があった。

(3) CARBON誌関係

特に報告無し。

(4) その他

白石壮志氏より、炭素材料学会年会の最終日に開催される次世代の会の定例会についての紹介があった。定例会のミーティングの他、講演会2件を予定しており、会員資格は45歳以下の学会会員だが、講演会については年会参加登録者は誰でも参加できるとのこと。

(以上)